

大阪の伊吹さん一家滞在

親子3人が芸術作品

制作過程の一般公開も



【岩見沢】芸術家一家が岩見沢に滞在しながら芸術作品を仕上げた「アーティストファミリーレジデンス・イン・岩見沢」で、大阪府在住の画家伊吹拓さん(42)、妻と陶芸家の尚子さん(44)、長男の音くん(9)の3人家族が25日、岩見沢入りした。早速、FMラジオ「AIR-G」の取材を受け、写真

18日間の制作活動を入ターゲットさせた。事業は実行委が主催し、市民に芸術に興味

を持ってもらおうと初めて企画した。拓さんは幅3・6呎の大型作品を、尚さんは主に器を作り、音くんも絵画を描くという。8月6日まで栗沢町上幌の上幌集会所、7～11日はまなみーるで作品制作し、その過程を市民に無料で公開する。12日からまなみーるに作品を展示する。

25日は上幌集会所で作品制作に着手。「AIR-G」の取材に拓さんは「周りから見られている緊張感で意外

とい線が引けたりということがあるかもしれない。いろんな人と会話しながら作品を作るのが楽しみ」と答えた。取材のもう一人は人気番組「スパークル・スパークラー」で生放送された。

作品制作の公開時間は午前11時～午後4時。制作期間中は道教育大岩見沢校の学生が授業の一環で伊吹さん家族に密着し、制作の

様子を記録する。芸術・スポーツビジネス専攻3年の落合美優香さん(20)は「芸術家一家と長期間、一緒にいられるのは貴重な機会。新たな価値観を学び、成長につなげたい」と期待する。

問い合わせは実行委事務局の中野さん(TEL 090・7057・9594)へ。

【末永直樹】

ALT3人が退任

失敗を恐れず 英語楽しんで

【岩見沢】市内小学校に勤務する外国語指導助手(ALT)の3人が、任期満了で退任することになった。子どもたちの英語活動

を支えた3人は「間違いや失敗を恐れず、英語を楽しんで」と話していた。写真。ALTの任期は8月から1年間、更新も可